

【参 考】

県民・企業・NPO等との協働・連携による取組み

【基本的な考え方】

かながわ教育ビジョンに基づき、県民等との協働連携による人づくりを進めていく中で、特別な予算を措置することなく、職員一人ひとりの創意工夫のもと、企業・団体等との協働・連携により施策事業を展開する。

〈主な取組み〉

分野	取組み名	取組みの内容
いじめ・暴力行為対策の推進と不登校への対応	いじめ・暴力行為等の防止に向けた地域人材活用事業	いじめや暴力行為等の防止に向けた各学校等の取組みを支援するため、青少年の健全育成や地域の見守り活動等を行っている関係機関やボランティア等の方々を、「いじめ・暴力追放アドバイザー」として委嘱し、講演会やワークショップ等の講師として学校に派遣する。(平成22年度から開始)
	スクールライフサポーター派遣事業(インターンシップ部門)の実施	大学・市町村教育委員会との連携のもと、問題を抱える子どもへの対応や学習支援などを行うため、大学のインターンシップ制度を活用し、教職課程を履修している大学生などを「スクールライフサポーター」として小学校に派遣する事業を大学に広く呼びかけ実施する。(平成21年度から開始)
	企業協力による「携帯電話教室～正しい使い方といじめ予防～」	児童・生徒が、携帯電話の安全な使い方に係る知識とマナーに関する理解を深め、携帯電話に係る様々なトラブルを未然に防止するため、企業の社会貢献活動(講師派遣・資料配付等)による携帯電話教室を実施する。(平成19年度から開始。平成20年度より希望する県立学校及び公立学校で実施)
	携帯電話サイト「かながわモード」の運営	インターネット上のいじめ等の防止対策を推進し、携帯電話の安全・安心な使用のために、小学生、中学・高校生、保護者、教職員のそれぞれを対象とし、携帯電話の危険性を認識するページ、代表的なトラブルへの対処法や相談先を案内するページなどから構成する携帯電話サイトを運営する。(平成20年11月開設)
活力と魅力ある県立高校づくり	大学との連携による「専門家から直接聞く“知の世界”」	高大連携の取組みをさらに発展させるため、大学での講座の受講や大学の専門家による特別講義などを希望する高校が実施計画案を教育委員会に提出し、教育委員会がコーディネーター役として、関連する大学と連携・調整を行い、計画の実行を支援する。
安全な教育環境の整備	県立学校環境整備事業に対する支援	業者発注によらず、教職員、生徒、PTA、地域ボランティア等が連携、協力して施設の簡易な修繕、補修等を行う県立学校に対して、材料費等の支援を行う。(平成19年度から開始)
文化芸術・スポーツを楽しむ環境づくり	科学者等と県民が飲み物を片手に語り合う「サイエンスカフェ」の科学・技術系関係機関との共同による開催	川崎図書館において、科学者等と県民が飲み物を片手に語り合う「サイエンスカフェ」を、科学・技術系関係機関と共催することで、一般県民が最先端の科学に気軽に接し、科学への興味をより深めてもらう生涯学習の場を提供する。
	「3033運動」普及促進事業	スポーツ指導者、スポーツ推進委員等を対象とした「3033運動普及員養成講習会」及び、PTA主催事業や市町村、企業等における「3033運動講習会」を要望に応じて実施し、県民への普及・啓発を促進する。
	体力測定支援事業	市町村や企業、総合型地域スポーツクラブ等の要請により、体力測定や測定の実施方法等の講習会を開催し、健康の保持増進、体力向上への取組みの基礎となる体力測定の実施方法や評価方法等を普及・啓発する。